

工学系研究科
物理工学専攻

木村研究室



准教授 木村隆志

X線自由電子レーザーや放射光、高次高調波といった先端X線光源と、超精密加工法や電子ビームリソグラフィなどの半導体プロセス技術を応用した超精密X線光学素子を組み合わせたいメージングによって、生物・非生物を問わず、メソスコピックな微細構造と物性の関係を、従来にない空間・時間分解能で結びつけ、新たなサイエンスを切り拓くことを目指しています。



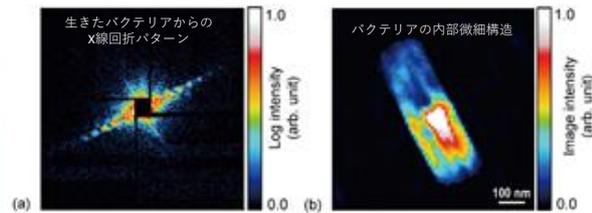
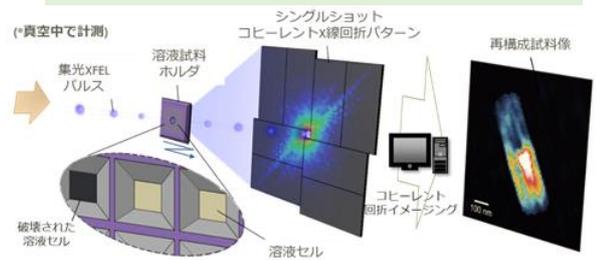
研究に利用している
Spring-8 & SACLA

**X線自由電子レーザー施設SACLAや
東大所有のクリーンルームでの実験の様子**



原子レベルに迫る超精密加工・計測技術を応用し、様々な新規X線光学素子を設計・作製しています。具体的には、X線集光ミラーやX線分光光学素子、溶液中試料計測のためのマイクロ流路デバイスなどのほか、レンズレスイメージングのための計算アルゴリズムの開発を現在行っています。また現在建設が進められている次世代放射光施設での実装を見据え、新たな基盤技術開発も積極的に行っています。

研究例2：X線自由電子レーザーによる生細胞イメージング



研究例1：高精度形状可変ミラーを用いた硬X線イメージングシステムの構築

コンセプト X線ミラー集光光学系に波面補正システムを導入することにより、理想的な光学特性（回折限界集光）を実現する。

集光ミラー：非球面
形状可変ミラー：平面 → 作製難度：易

Before compensation 形状可変ミラー 集光点

X-ray (20 keV) 集光ミラー

①ミラーの集光特性から、光学系の波面誤差を算出。

Phase error (rad) vs Position (mm)

集光点近傍強度分布

After compensation 波面補正

形状可変ミラー

②形状可変ミラーを変形し、波面誤差を補正。

Intensity [arb. unit] vs Position [nm]

FWHM: 7 nm

補正前 (blue line), 補正後 (red line)

③回折限界集光ビームの実現。

質問や相談、研究室見学は
いつでも大歓迎です！

